

SuperGT

Round.7 AUTO POLIS

日産愛媛自動車大学校



テクニカル
マネジメント

ドライバーサポート

広報



日産神奈川 日産東京 兵庫日産 日産大阪 埼玉日産 日産プリンス福島 日産プリンス埼玉 岐阜日産 愛知日産 日産プリンス名古屋 京都日産 愛媛日産 鹿児島日産
 帯広日産 日産青森 日産サティオ弘前 日産プリンス宮城 秋田日産 日産プリンス秋田 日産サティオ秋田 福島日産 栃木日産 日産プリンス栃木 日産プリンス群馬 長野日産 日産サティオ埼玉 日産自動車販売 千葉日産
 日産プリンス千葉 三重日産 日産プリンス三重 静岡日産 日産プリンス静岡 浜松日産 三河日産 日産プリンス兵庫 和歌山日産 滋賀日産 日産サティ奥山 日産プリンス広島 日産プリンス山口 香川日産 長崎日産
 日産福岡 日産サティ佐賀 日産プリンス大分 日産プリンス熊本 熊本日産 日産プリンス長崎 旭川日産 岩手日産 日産プリンス岩手 日産サティ新潟西 甲斐日産 松本日産 日産サティ千葉 日産サティ湖南
 富山日産 日産サティ富山 石川日産 福井日産 奈良日産 日産プリンス和歌山 日産サティ福山 岡山日産 宮崎日産 日産サティ宮崎

目次

レースリザルト・・・P3

近藤監督にインタビュー・・・P4～P5

オリベira選手にインタビュー・・・P6

木村偉織選手にインタビュー・・・P7

学生インタビュー・・・P8

あとがき・・・P9～P10

最後に広報から・・・P11



レースリザルト

予選の結果

2026年10月17日（土）、
天気は快晴・ドライコ
ンディションでスター
トする事ができ、Q1で
はオリベ이라選手が1分
44秒731のタイムを記録
し、8番手で通過。



Q2では木村選手に交代、1分44秒033を記録し、11番手からのスタートを獲得、決勝に向けてますますの滑り出しとなりました。

決勝戦の結果



今日も天気は快晴、ドライコ
ンディションの11番手からス
タートし、木村選手が55LAP、
セッションタイムが1:07:00で
ピットに入り、オリベ이라選
手と交代し、最終的に15位で
フィニッシュとなりました。

近藤真彦監督インタビュー



Q：近藤監督がこれまでのレースで一番苦戦したレースは何ですか？
また、それをどのように対策して乗り越えましたか？

A：大体2000年から26年間KONDOレーシングやって6割が納得できない、苦戦したレース。4割が満足のいくそこにはもう勝ちもあり、表彰台もありのレースでだからこのレースが良かったこのレースが悪かったっていうのはなくて、大体26年間で自分の気持ちのなかで6割が残念なレースで、4割が期待した通りのレースができた感じです。残念なレースの時にはその残念度合いがやっぱりあって、「何クソ」という気持ちで次のレースなんとかしてやろうっていう気持ちの時もあれば、やめようかなって思うこともありました。



Q：愛媛校の学生は、近藤監督からはどのように見えていますか？

A：羨ましいよね。都会のようなざわざわしたところでいろんなことを学ぶよりも、自然の中でいろんなことを学べるのはすごく羨ましいと思う。あんまり都会に憧れない方がいいかもしれないよ。本当に学生から社会人になればさ、大阪に出ることもあれば、東京に出ることもあるから、今はもうじっくりと自然の中でお勉強してください。

Q：監督は何か最近チャレンジしたことやしてみたいことはありますか？



A：昔は小さい魚を釣るのは好きだったんですけど、今はやっぱり大きい魚に興味が出てきて。夢のまた夢としてはやっぱり260キロぐらいのマグロをつりたい。それが夢ですね。今150キロぐらいまで釣ったんだけど。でも夢としては260キロのマグロを釣って、天国の松方弘樹さんに、「松方さん釣ったぞー！」って言いたいですね。

オリベ이라選手インタビュー



56号車のオリベ이라選手

Q：レース中のハプニングに対してどのような対応をしていますか？

A：いつも落ち着いているよう心がける。パンクしたり、ホイールが取れたり、いろいろ起こるから、それでも分析をしてしっかり落ち着いている。ドライバーは観客の皆さんが思ってるより実は冷静で、どうやってピットに戻れるかなとか考えてる。2022年なんか最終戦で3つのタイヤだけでピットに戻ったからね。そうやって常にアクシデントに備えておくことが大切だよ。

Q：F3とSGTの最も大きな違いはなんですか？また、F3での経験は現在どのように生きていきますか？

A：F3からSGTを走るならそれはかなり違いが大きい。F3はすごく低く座ってエア口で空力もいい。GTは乗用車だから動きも大きいし、重さも違う。運転のスタイルはまったく違うからね。でもF3もGT500、ハイパーカーまで乗りこなすならそれぞれの違いをしっかり分かっているのは有利だよ。

Q：F3で身につけた技術の中で、SGTで最も役に立っているものは何ですか？

A：F3の技術がどれだけSGTに役立っているかははっきりとはわからないんだよね。クルマが違いすぎるからね。でもひとつ言えるのはタイヤ開発が日本ではあるから、フォーミュラのタイヤの温め方やドライビングがどれだけ違うか理解できてるのは大切だね。



木村偉織選手インタビュー

56号車の木村偉織選手

Q：レース中のハプニングに対してどのような対応をしていますか？

A：基本的にハプニングがないような状況に持っていくために、いろんなことを想定する。要は自分がわからない、どうしたらいいかわからないっていう事がハプニングだと思ってて、その中でハプニングが起きた時に、チームに支持を仰いだりとか、相談できる人を常に作るとか、それも準備の一つです。

Q：ポルシェは駆動レイアウトがRRですが、やっぱりGTRと比べて、乗りにくいとかありますか？

A：乗りにくい乗りやすいは置いといて、運転の方法は全く違います。ポルシェの強さで言えば、やっぱりエンジンがリアにあるんで、ブレーキとトラクションが強いんですよ。コーナリング中のバランスで言うと、やっぱりフロントが軽くて、上手くそこを曲げるのがドライバーの力量だと思ってて、だからそういう意味では、ポルシェもGTRも求められているドライビングスタイルが全然違うんで。だからいい経験ですね、引き出しが増えるような。

Q：朝が弱いとお聞きしましたが、何か対策などはされていますか？

A：早く寝れたら寝る。あとはシャワー浴びる、サーキットまで運転する、ランニングして血圧とか心拍数上げるとか色々あります。

学生インタビュー

今年で3年連続の参加になるので、今回が自分にとって最後のメカニックチャレンジになります。これまで2年間参加して、レース現場の緊張感や、限られた時間の中で正確に作業する難しさを経験してきました。3年目の今回は、今まで教えていただいたことを活かして、指示された作業をするだけでなく、周りの状況を見ながら自分から動くことを意識したいです。テクニカル領域ではピット作業にも参加するので、チームの一員として責任を持って行動し、これまでの経験を全部出し切りたいと思っています。最後の参加になるので、悔いのないように全力で取り組んで、技術だけでなく判断力やチームワークもしっかり身につけて帰ってきたいです。



3年 河合隼杜さん



1年 山之内海斗さん

初めての参加ですが、小さなトラブルがたくさん起きた時に臨機応変に対応できるように頑張っていきたいです。大分のオートポリスへ足を運んでくださる、皆様に「やっぱり、日産は素晴らしい、また応援したい！」と感じていただけるように全力でホスピタリティを届けていきます！

ピット風景



3年 河合隼杜さん

接客風景



1年 山之内海斗さん

あとがき

マネジメント



お客様対応に向け荷物を搬入する様子



実際の接客風景

テクニカル



56号車の車検が終わり
記念撮影



56号車のタイヤを運ぶ様子

ドライバーサポート



オリベ이라選手に
傘を差す風景



ドライバーの飲み物を
準備する様子

広報



広報事前準備



実際のインタビュー風景

最後に広報から



事前準備で、レポートの構成や動画の構成などをほぼ完成させた状態でメカニックチャレンジに挑むことができました。ハプニングに対する臨機応変な対応や動画撮影、写真撮影に集中して取り組むことができ、スムーズに物事を進めることができました。写真の取舍選択などで意見の食い違いで揉めることもありましたが、先生方のサポート、広報メンバーのチームワークにより、無事完成させることができました。ここで学んだことは学校生活だけではなく私生活や就職後のことにも必ず役に立つと思います。

最後に応援いただいた皆様、
ありがとうございました！